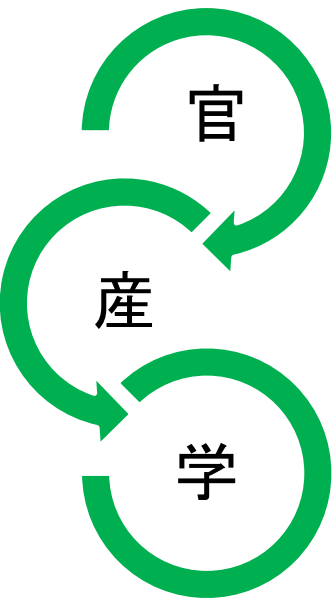


# クールジャパン戦略の再構築とSDGs ー変化の中でのサバイバルを探るー

# 笹谷秀光 プロフィール



農林水産省  
外務省  
環境省

総合飲料企業役員

日本経営倫理学会  
理事  
グローバルビジネス  
学会理事



集大成



# SDGsの 主流化

① SDGsを使いこなす

② 企業・自治体SDGs

③ 関係者連携・発信

# SDGsの難しさ

ガラパゴス化する日本

外来用語(頭文字)の混乱(CSR/ISO/CSV/ESG/SDGs)

SDGsスルーとは？

もともとある

枕詞、理念

サステナビリティ？

ESG経営？

「ESG投資とSDGs経営」(経済産業省研究会)

# SDGs 2030アジェンダ

## 「我々の世界を**変革**する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」

Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

2015年9月

国連全加盟193か国の合意文書

SDGsは英文35ページの中の約15ページ  
目標年次2030年

2030アジェンダの構成

前文・各種原則

SDGs(17目標と169ターゲット)

フォローアップなど



## 前文の要素

協同的なパートナーシップ

大胆かつ変革的な手段

誰一人取り残さない

人権を実現、ジェンダー平等

経済、社会及び環境の三側面を調和

## 我々のビジョン、目指すべき世界像の要素

身体的、精神的、社会的福祉(well-being)が保障される世界

公正で、衡平で、寛容で、開かれており、社会的に包摂的な世界

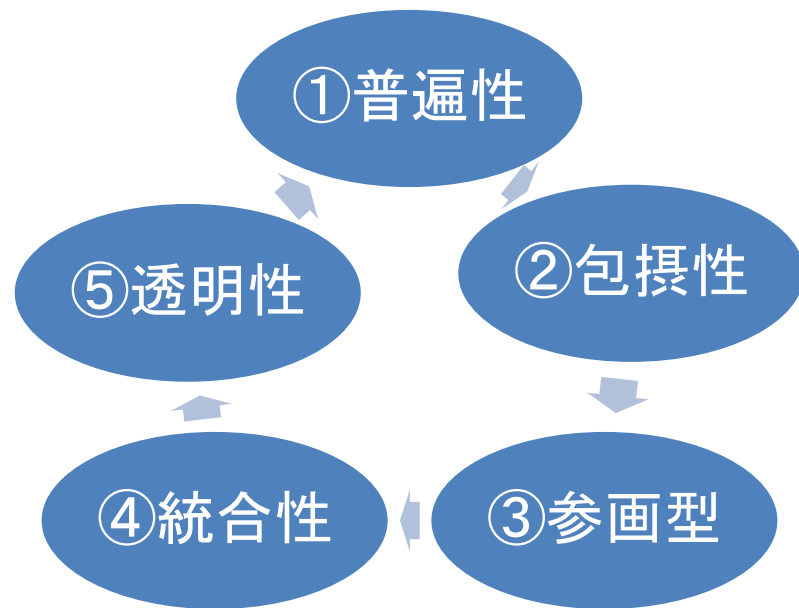
持続可能な経済成長と働きがいのある人間らしい仕事(decent work)を享受できる世界

# SDGsの5原則 2030アジェンダを読みこなす

## SDGsの特色

自主的取り組み

できる人ができるところから行う





# 2030アジェンダ前文の5つのPとSDGs

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

17 パートナーシップで目標を達成しよう



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

16 平和と公正をすべての人に

図版はすべて国際連合広報局  
17目標のあてはめは筆者

## SDGsのウェディングケーキモデル



出典： Stockholm Resilience Centre <http://www.stockholmresilience.org/research/research-news/2016-06-14-how-food-connects-all-the-sdgs.html>

ストックホルム・レジリエンスセンター作成

# クールジャパンとSDGs

## SDGs12 を軸に自分事化



SDGs図版はすべて国際連合広報局  
当てはめは筆者

# ターゲットレベルで見る

12 RESPONSIBLE  
CONSUMPTION  
AND PRODUCTION



12. つくる責任 つかう責任、持続可能な生産消費形態を確保する

## ターゲット(キーワード)

12.1 持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組み

12.2 天然資源

12.3 食品ロス

12.4 化学物質や廃棄物(2020年まで)

12.5 廃棄物の発生

12.6 特に大企業の持続可能な取り組み導入、持続可能性に関する定期報告

12.7 持続可能な公共調達

12.8 人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識

12.a 開発途上国への科学的・技術的能力支援

12.b 雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響の測定手法

12.c 化石燃料に対する非効率な補助金

(参考)SDGsのターゲット・キーワード集(筆者作成) 「Q&A SDGs経営」(日本経済出版)より

# SDGsの 主流化

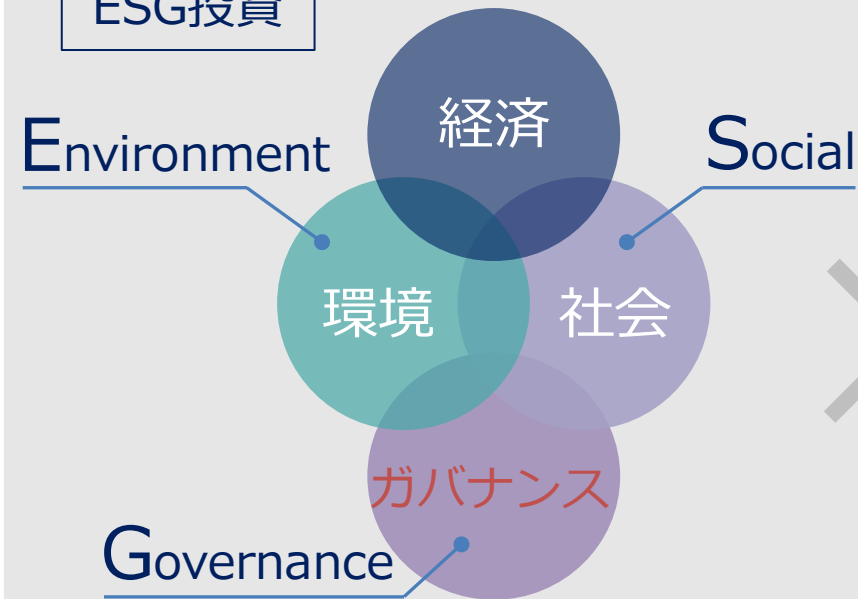
1 SDGsを使いこなす

2 企業・自治体SDGs

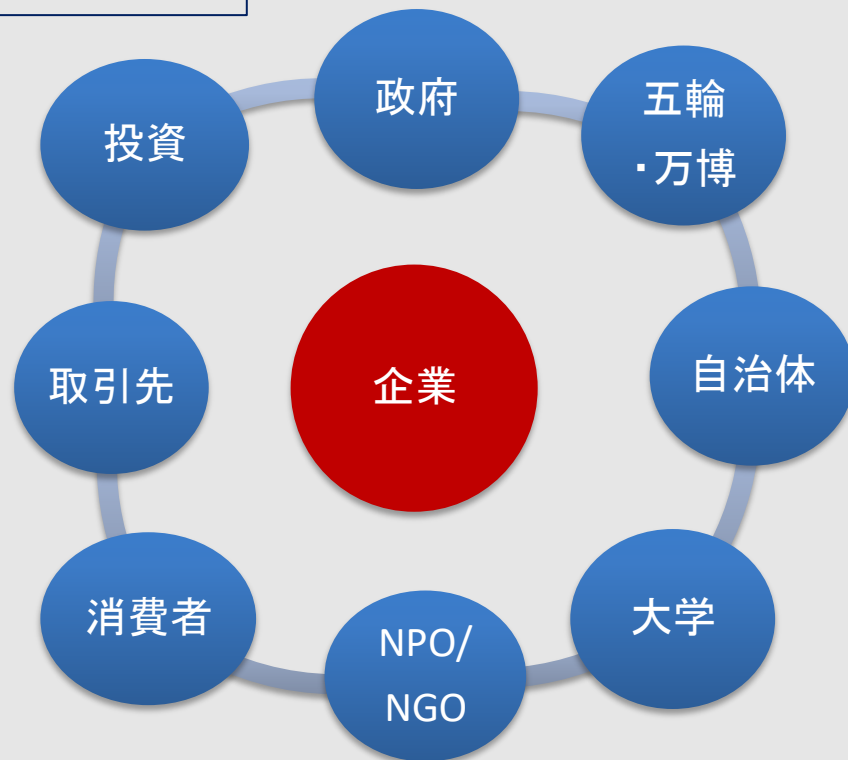
3 関係者連携・発信

# ESG投資とSDGsの主流化

## ESG投資



## SDGsの主流化



どうする日本企業？

発信型三方良しのSDGs化

三方よし



相手

発信

自分

陰徳善事

発信型  
(開示型)  
三方よし

SDGs図版は国際連合広報局

# EXPO for SDG s

自治SDGs

SDGs未来都制度

124自治体

## 2020年度 大阪府・大阪市

2025年大阪・関西万博がめざすもの

✓ 持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献

✓ 日本の国家戦略Society5.0の実現

### EXPO for SDGs

国連が掲げる「SDGs（持続可能な開発目標）」達成の目標年である2030年まで残り5年となる2025年は、実現に向けた取り組みを加速するのに極めて重要な年です。

2025年に開催される大阪・関西万博は、SDGsを2030年までに達成するためのプラットフォームになります。



公益社団法人2025年  
日本国際博覧会協会  
HPより

<https://www.expo2025.or.jp/overview/purpose/>



# SDGsアクションプラン

## 2022

～全ての人が生きがいを感じられる、新しい社会へ～

令和3年12月  
SDGs推進本部

### II. 「SDGsアクションプラン2022」の重点事項（抜粋）

#### People 人間：感染症対策と未来の基盤づくり

- 6月までの可能な限り早いタイミングで新たな「グローバルヘルス戦略」を策定し、取組を加速する。
- 「女性版骨太の方針」等に基づき、女性デジタル人材の育成や「生理の貧困」への支援、女性の登用目標達成、女性に対する暴力の根絶など、女性活躍・男女共同参画の取組を強力に推進する。
- こども中心の行政を確立するための新たな行政組織を2023年中に設置することも通じ、子どもの貧困対策など、子どもや子育て世代の視点に立った政策を総合的かつ包括的に推進する。

#### Prosperity 繁栄：成長と分配の好循環

- 「デジタル田園都市国家構想」の実現を通じ、地域の個性を活かしながら、地方を活性化し、持続可能な経済社会の実現に取り組む。
- これまで進めてきた「SDGs未来都市」に加え、新たに複数の地方公共団体が連携して実施する脱炭素化やデジタル化に関する取組に対しても支援を行うことで、地方におけるSDGs達成に向けた取組を加速する。

#### Planet 地球：地球の未来への貢献

- 温暖化対策を成長につなげるグリーンエネルギー戦略を策定し、強力に推進していく。
- 海洋プラスチックごみ対策について、2月の国連環境総会で国際約束作りの開始を目指す。
- 4月に熊本で開催する「第4回アジア・太平洋水サミット」や、「ポスト2020生物多様性枠組」に向けた議論などを通じ、地球環境問題に積極的に取り組む。

#### Peace 平和：普遍的価値の遵守

- 第8回アフリカ開発会議（TICAD）も通じ、日本の取組を推進していく。

#### Partnership パートナーシップ：絆の力を呼び起こす

- 2023年のSDGs実施指針改定を念頭に、2022年中に幅広いステークホルダーとの意見交換を進め、SDGs達成に向けた取組を加速していく。
- 「日メコンSDGsフォーラム」等を通じ、国内外のあらゆる分野の関係者とSDGs達成に向けた連携を深めていく。



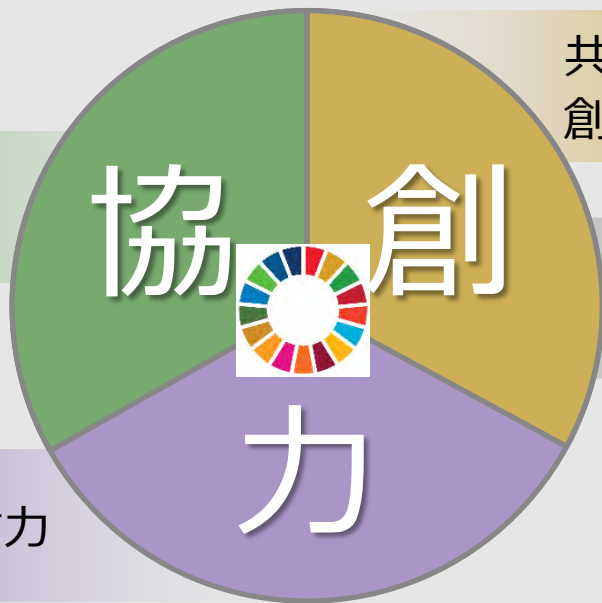
# SDGs活用の効果

SDGsで協創力

連携・協働で新たな価値を生み出す力

協働の  
プラットフォーム

学びと発信力



共通価値の  
創造

企業の本業で  
創造性とイノベーション

企業価値の引き上げと  
社員モチベーション向上

新たなクールジャパンへ

# SDGsの 主流化

1 SDGsを使いこなす

2 企業・自治体SDGs

3 関係者連携・発信

SDGs 169のターゲット



一通りの当てはめ



SDGsウォッシュ（ごまかし）を  
避けるチェック



マトリックス整理で発信



規定演技



重点を決め直す





















差別化



自由演技

# SDGs経営支援ツール:規定演技から自由演技へ 笹谷マトリックス(簡素版)

ESG/ISO26000/SDGsマトリックス																							
ESG	ISO26000の7つの中核主題	取り組み内容(例)	SDGs17目標																				
																							
G	組織統治	コーポレートガバナンス																			●	●	
S	人権	人権の尊重関連	●																				●
	労働慣行	労働関連					●																●
	公正な労働慣行	取引関連規制の順守																					●
	消費者課題	消費者保護																					●
	コミュニティ	地域対応		●	●	●																	●
E	環境	環境関連																					
		カーボン・ニュートラル				●				●												●	●
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

# どうするクールジャパン？



ゆい  
結

17 パートナースhipで  
目標を達成しよう



写真提供：岐阜県白川村



# SDGs経営：ブランドデザイン

ブランドイメージ  
の「よりどころ」  
(無形資産活用  
とワンボイス化)

社会・環境  
(リスク)



THE GLOBAL GOALS  
For Sustainable Development

グローバル発信



企業のブラン  
ドをデザイ  
ンし、企業価  
値を高める

経済価値  
(チャンス)

「共感」を呼ぶ  
コミュニケーション  
ツール

## 活動の共通基盤(プラットフォーム)



SDGsの主流化

3 すべての人に  
健康と福祉を



世界的な協調  
貿易、規制

17 パートナシップで  
目標を達成しよう



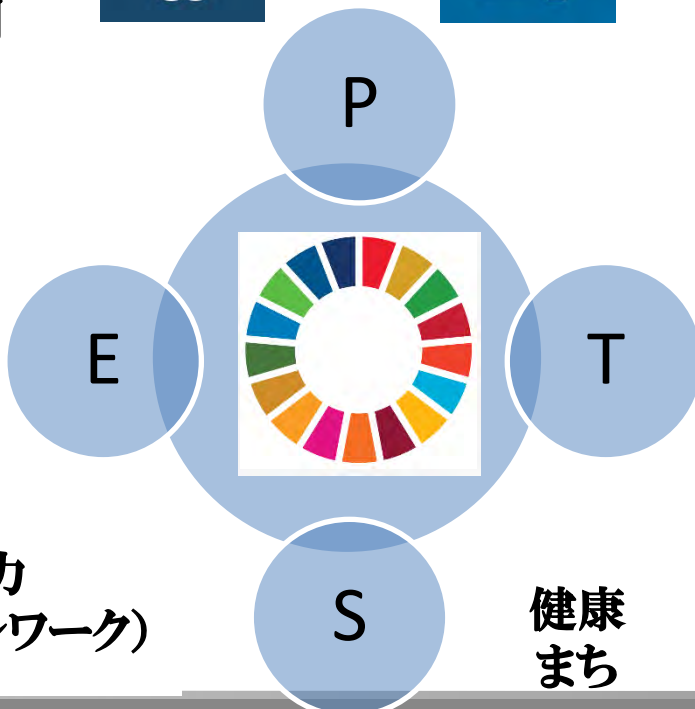
16 平和と公正を  
すべての人に



13 気候変動に  
具体的な対策を



財務と流動性  
オペレーションと  
サプライチェーン  
危機管理(BCP)



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



医療技術  
発信

戦略と  
ブランド

効果的  
な発信

8 働きがいも  
経済成長も



労働力  
働き方(テレワーク)

健康  
まち

11 住み続けられる  
まちづくりを



# 持続可能性をめぐるタイムライン

2015年は、ESG元年／2022年は、SDGs 本格元年

「パリ協定」

E



「コーポレート  
ガバナンスコード」

G

2023

G7日本が議長国、「SDGs国連フォローアップ」

2025

大阪・関西万国博覧会 EXPO for SDGs

2030

世界が合意した持続可能な開発目標の達成

(図版は筆者、SDGsのロゴは国際広報センター)

SDGsは世界の共通言語

SDGsはビジネスパーソンの新常識

SDGsを使いこなす

SDGsネイティブの時代

# プロフィール 笹谷 秀光 (ささや ひでみつ) Hidemitsu Sasaya

千葉商科大学・基盤教育機構教授、博士(政策研究)  
ESG/SDGsコンサルタント、

東京大学法学部卒業。1977年農林省入省。2005年環境省大臣官房審議官、2006年農林水産省大臣官房審議官、2007年関東森林管理局長を経て、2008年退官。同年伊藤園入社、取締役、常務執行役員を経て2019年退職。現在、千葉商科大学教授

(主な兼職)日本経営倫理学会理事、グローバルビジネス学会理事、特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム理事、宮崎県小林市「こぼやしPR大使」、文部科学省青少年の体験活動推進企業表彰審査委員、未来まちづくりフォーラム実行委員長

著書 「CSR新時代の競争戦略-ISO26000活用術」(日本評論社・2013年)「協創力が稼ぐ時代—ビジネス思考の日本創生・地方創生」(ウイズワークス社・2015年) 環境新聞ブックレットシリーズ14「経営に生かすSDGs講座」(環境新聞社・2018年)「Q&A SDGs経営」(日本経済新聞出版・2019年)、「3ステップで学ぶ自治体SDGs」(ぎょうせい・2020)。



▶笹谷秀光の公式サイト「発信型三方よし」  
<https://csrsdg.com/>



THANK YOU